



# 福生市議会の横田基地対策特別委員会で、委員全員的一致で採決されました。

## 12月19日の議会運営委員会でも採決され要請文として、提出されました。

### 下記が採決され提出された内容です。

沖縄県名護市沖でのMV-22 オスプレイの不時着水及び普天間飛行場での同型機の着陸装置の不具合について (要請)

平成28年12月13日に沖縄県名護市東海岸から約1km沖合で、米軍機MV-22 オスプレイ1機が不時着水しました。

同日、普天間飛行場において同型機が着陸装置の不具合から胴体着陸したとの情報もあります。

今般の事故等は、横田基地へのCV-22 オスプレイの配備計画が発表されている中で事故等であり、周辺住民のオスプレイに対する安全性への懸念は大きくなっています。

このため福生市議会は、当該事故等の原因究明と再発防止策について、米軍に申し入れるよう要請するとともに、客観的事実に基づき福生市議会に対し、事故等に関する迅速かつ正確な情報提供を行うよう要請します。

また、事故等に係る原因究明により、安全性が確認されるまで、MV-22 オスプレイの飛行を行わないことを米軍に申し入れるよう要請します。

平成28年12月19日

福生市議会議長

末次和夫

外務大臣 岸田文雄様

防衛大臣 稲田朋美様

北関東防衛局長 平井啓友様

日本共産党会派がオスプレイの沖縄墜落問題で、議長、議会運営委員会委員長、横田基地対策特別委員会委員長に提出しました。裏面にその意見書の全文を紹介しています。

**MV22** は米海兵隊仕様 普天間飛行場24機配備 オスプレイの基本型式で海兵隊の兵員・物資輸送用です。

**CV22** は米空軍仕様 横田基地に10機配備予定。空軍の特殊作戦部隊投入・撤収に使用です。

国際法を犯し敵国深く潜入などから、夜間低空飛行能力が強化され、地形追従レーダー(地上障害物から高度15mの低空飛行可能)・電子妨害機能・レーダー探知機能が追加されています。

#### オスプレイ・クラスA事故

##### ■ MV22

1991/06/11 試作機が離陸時に制御不能になり、転覆・墜落

1992/07/20 着陸直前に右エンジンから出火、基地近くの川に転落(7人死亡)

2000/04/08 着陸のため降下中、コントロールを失って墜落(19人死亡)

2000/12/11 機器の不具合により機体が操縦不能になり、墜落(4人死亡)

～開発中止されたが、再開されて左下へ ※

##### ■ MV22 (※2007年から実戦配備～以降のクラスA事故)

2007/11/06 飛行中にエンジンから出火、緊急着陸

2011/07/07 アフガニスタンで離陸中、後方ドアが開いて兵士が落下 (1人死亡)

2012/04/11 アフリカ・モロッコで離陸直後、旋回中に追い風を受けて墜落 (2人死亡)

2013/06/21 訓練で着陸時に地表が燃えて胴体に引火、機体炎上

2013/08/26 訓練中に着陸失敗、機体が炎上

2014/05/19 訓練中に後方ドアが開いて兵士が落下 (1人死亡)

2014/06/27 沖縄・普天間基地で落雷による破損

2015/05/17 ハワイで訓練中に砂嵐で失速、機体が大破・炎上 (2人死亡)

2015/12/08 太平洋上で揚陸艦への着艦失敗

2016/10/26 試験飛行中に基地への着陸失敗、先端部が破損

来年から福生市の横田基地配備予定は CV22

##### ■ CV22 (クラスA事故)

2009/03/02 訓練で離陸直後、圧縮機失速、左エンジン故障で緊急着陸

2010/04/09 アフガニスタンで着陸失敗、横転。エンジン出力が低下? (4人死亡)

2011/10/11 アフガニスタンで離陸直後に衝突回避で急ブレーキ、右ローターが破損

2012/06/13 編隊飛行中、先行機の後方乱気流に巻き込まれて後方機が墜落

MV22に比べ飛行実績が余りなく事故率は高い  
防衛省:10万飛行時間あたりクラスA事故率

2014年9月末 7.21 (MV22 2.2)

# 「沖縄県におけるオスプレイの連続重大事故の原因究明と、安全性の確認がないままの横田基地への飛来・配備の中止を求める緊急決議」を求める意見書

福生市議会議長 末次和夫 殿

2016年12月16日

日本共産党 奥富喜一

日本共産党 池田公三

12月14日未明に沖縄本島東海岸の浅瀬で、大破した米普天間飛行場所属の米海兵隊のMV-22オスプレイが発見されました。米軍は「完全にコントロール下の不時着」としているようですが、大破した機体の状況から、コントロール不能に陥った結果の墜落であることは明らかです。

さらに、マスコミがこの事故を取材する過程で、前日の13日夜、別のオスプレイが故障によって、普天間基地に胴体着陸していたことも明らかになりました。

オスプレイは、2011年から今日迄、毎年2件以上のAクラスに属する重大事故を繰り返し起こしています。この事実は根本的原因の究明・改善が行われていない疑いさえも抱かせるものです。

今回の事故は海上だったために、民間への被害を免れましたが、人口密集地や市街地では、その被害は計り知れないものがあります。

こうした状況にあってもなお、横田基地にオスプレイを配備する計画が撤回されないことは、福生市民の生命・財産を全く軽視する重大な問題です。

福生市議会では、平成27年6月9日に全会一致で決定した「CV22オスプレイの横田基地への配備に対する決議」などで、オスプレイの安全性への疑問が払拭されていないことなどを指摘してきました。今回の事故を受け、その疑問はますます大きなものとなっています。

市長もすぐに意思表示されました。福生市議会として、今回の沖縄における連続した重大事故の徹底した原因究明と、安全性の確認がなされないまま横田基地へのオスプレイの飛来・配備が行われないよう、強くもとめる緊急決議を出すことを求めます。